



Code Orange

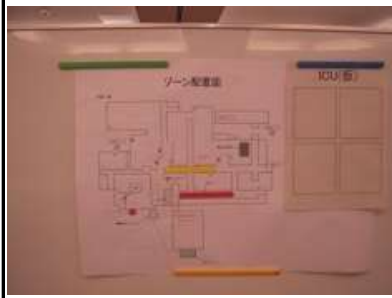


去る、9月1日、今年度史上最大の広域医療搬送訓練が静岡県で開催されました。訓練には、救急診療科の医師2名(久保Dr、松田Dr)と救急病棟看護師1名(仲榎)がインストラクター(日本DMAT)として参加。災害家族の3人は仲良く、静岡県に馳せ参じましたが到着してすぐにそれぞれの病院へ出向き、家族離散という形で、史上最大の訓練を全国の参集DMATが無事に遂行できるように、微力ながらお手伝いをしてまいりました。右の写真が災害家族の父ちゃんこと久保Drです。



広域搬送医療訓練報告

静岡県は、非常に町全体、県全体でも防災意識が強く、毎年、災害の訓練を行っているためか訓練の受け入れ状態もよく、またDMAT隊員への病院の協力体制も整っていましたが、DMATが存在していない病院は活動や役割を理解していなかったために、共通言語に乏しく、超急性期における重大な要素であるスピードが欠けていたかなという印象をうけ、さらなる訓練の必要性を実感しました。(仲榎)



FERST研修

9月3日第2回FERST研修が終了しました。受講生は24人。Excellentは少数でしたが、放射線技師の方が頑張られていました。



次回のFERST研修は11月5日です。

詳細は院内メールで配信しております。多数のご応募お待ちしております。

災害訓練終了

2010年9月7日センター内災害訓練が実施されました。今年はDMAT隊員をキーポジションに配置、CゾーントリアージでのFAST、ポータブルレントゲンの実施などより実践に近い形での訓練となりました。大阪大学からのドクターヘリでの広域搬送訓練も実施されました。



用語説明:コード・オレンジ:オレンジは災害、救助を象徴する色です。災害発生時には院内放送でこのCall Signが宣言されます。ちなみにコード・ブルーとは『緊急事態・全員集合』の意味があります。FERST:災害時などに対応できる院内の緊急支援チーム。研修では、災害時に必要な知識、実技の取得を目標としています。トリアージ:多数傷病者に対し、適切かつ迅速な医療活動を展開するため緊急度に応じて傷病者を色付けします。(赤:緊急治療群、黄:準緊急治療群、緑:軽処置群、黒:救命困難群)STARTは生理学的評価で行う簡便な(30秒/人以内)トリアージ法で、PATとは生理学的かつ解剖学的評価で行う方法です。